

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（1/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
霞堤地区浸水被害軽減対策フォローアップについて				
1	本工事の開始時期や、駐車禁止の有無について知りたい。 また、完成後の利用形態はどうなるか。城下橋の通行可否や市民の利用について調整されているか、もし調整されていなければ今後の方針を教えてください。	全体として今後約 10 年間をかけて工事を進めていく予定である。今年度は上から工事用道路を整備するので、用地買収しながら進めていく。現時点では、具体的にどの年度にどの箇所の工事を実施するかについての詳細な計画は未定であり、今後、豊橋市との調整を行っていく。 計画が確定次第、通行可能箇所や工事期間中の通行止めに関する調整も併せて実施し、引き続き本会議のような場を通じて情報提供を行っていく。	国	
2	作業用道路について、桜丘高校の野球場付近で道路工事を実施する際には、事前に「適切な箇所をトラックが通行するように」と打ち合わせをした。 道路下には暗渠配管が存在しており、昨年度の工事では問題なく進行したが、10～20 年前の工事では複数箇所で配管が損傷した事例があった。農道の規制については「工事用道路」と明示されているが、実際にはトラック会社や工事の都合により農道を通行してしまうケースもあるため、「農道は通行しない」という方針を徹底していただきたい。	基本的には農道を通行しない方針で進めている。 創造大学の前には県道があり、大学構内に進入後、堤防天端を一度通過し、川の中を通るルートを想定している。 ご意見いただいた農道については、我々としては通行車両ゼロを目指しているが、初期段階では一部車両が進入する可能性もあるため、基本的には県道から堤防天端を経由して降りてくるルートで対応する計画である	国	
3	一方通行はいいが、車の切り返しのスペースが必要だと考える。基本は農道を通らない方針という認識でよいか。	農道の通行が必要な場合は連絡させていただくが、基本は農道を通らない方針で進める。	国	
4	「牛川排水樋管」とあるが、これは堤防の下部に施設が設置されるだけでポンプ等の施設はなく、自然の落差を利用して沖野地区の浸水が樋管を通じて朝倉川に排水される仕組みであるという理解でよいか。	その通りである。	国	樋管は堤防下にコンクリートのボックス、水路を通し、本川側にゲートを設置した構造物であり、ポンプのように強制排水する施設ではありません。
5	樋管の畑側は、沖野川の排水につながっているのか。	今の沖野川のくぼんでいる箇所につながり、普段は沖野川の水が樋管を通じて流下する構造を検討している。 樋管の敷高で一番底面になるが、そちらは沖野川の高さから若干の勾配があるというイメージで考えている。	国	

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（2/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
6	その場合、満潮時には当該樋管を通じて逆流が発生するのか、あるいは通常は樋管が閉じられているのか。	基本的には開放している。洪水のときには逆流しないように閉めるので、明らかな満潮で逆流が想定される場合は別だが、計画上では通常の水位で逆流することはないと見込んでいる。基本は開放していて、大雨時に閉めると運用を想定している。	国	
7	現状、満潮時には飽海橋付近まで水が到達するため、樋管が開放されている場合には沖野川へ逆流するという理解でよいか。	高さ的には逆流の可能性はあるが、基本的には逆流しないように設計している。堤防下部に逆流防止のためのゲートを設置する予定であり、手動開閉ではなく、水圧によって自動的に閉じる『フラップ』と呼ばれる構造を採用する方向で検討している。潮位が高い場合にはフラップが密閉され、潮位が低い場合には開放されて水が流れる仕組みである。	国	
8	沖野地区が洪水で浸水した場合、樋管が唯一の排水路になる。沖野川は川幅がないため、排水に相当な時間を要すると想定しているが、排水時間はどの程度になるか。樋管では、あまり時間的な改善はないと考えていいか。 樋管による排水能力が現状の自然排水よりも向上しなければ意味がないため、排水の効果についても考慮いただきたい。	『浸水被害軽減の効果』を示しており、外水による浸水時間は 30 時間から 0 時間に短縮される。しかしながら、内水の排水については現時点で考慮されておらず、今後の課題として認識している。	国	昭和 44 年 8 月洪水再来時に完成堤整備後の浸水シミュレーションの結果から内水により一部浸水が発生し、10cm 以上の浸水が概ね 9 時間で解消されるものと推測されます。
9	ワンコインセンサについて、なぜそのような名前がついているのか、どのような機能があるのか説明いただきたい。	ワンコイン浸水センサは、国が主導する実証実験に参加しているものであり、『ワンコイン』とは 500 円程度で設置可能な機器を目指していることに由来する。ただし、実際の機器費用は約 4,000 円であり、名称とは乖離がある。資料 8 ページ、A3 の資料（資料 1 別紙）左上の写真に示されている通り、筆箱程度の大きさであり、底部にセンサが設置されている。センサが 10 分間浸水すると、国土交通省のシステムに信号が送られ、赤く点灯する仕組みである。 豊橋創造大学付近が最も早く浸水するが、簡易水位計では浸水時間の把握が困難である。そのため、豊橋創造大学付近に道路路面から 10cm 上にセンサを設置する方向で調整している。10 分間浸水した場合に情報が送信される運用を想定している。	市	

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（3/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
10	浸水すると、道路の通行が危うくなるのか。	車両の通行が困難となるのは、道路面から 15～20cm の浸水が発生した場合である。 全国のほとんどの自治体では、道路面から 10cm の位置にセンサを設置しており、10cm の浸水が 10 分間継続した場合に電波が送信され、ワンコイン表示システムに反映される仕組みである。	市	
11	本部会は、霞堤における浸水被害の軽減を目的とした協議の場であり、樋管の整備によって浸水被害が従来よりも明確に軽減される機能を有するか否かが、極めて重要な論点である。 既に堤防の高さ、幅、流量等については計算が行われていると考えられるが、あくまで本部会は浸水被害軽減を目的とした組織であり、地元住民への説明の場である。先ほど切実な質問が出されたことを踏まえ、今後も地域の不安を可能な限り取り除く方向で対応を進めていただきたい。	樋管の規模、整備方針についてご意見をいただいた。現在、樋管は設計中であり、沖野川の裏側に流入する水量や、豊川から地域に流れ込む水の処理方法について検討を進めている。 あくまで本部会は浸水被害軽減対策協議会であり、流量等の数値や計算結果を踏まえながら樋管の設計を進めていく方針である。本日は具体的な回答を持ち合わせていないが、今後、計算を進めながら対応していきたい。	国	
12	堤防に関する議論の中で、「暫定堤」および「完成堤」という用語が使用された。 霞堤とは、本来の高さで維持された堤防が曲がり角付近で途切れ、水が流入する構造である。一方、完成堤とは、「牛川地区の住民は今後、豊川の氾濫について心配する必要はない。現在工事が行われている区間に、豊川の堤防として最高の高さを持つ堤防が築かれる」という趣旨であると理解してよいか。	説明の中で、暫定堤、完成堤と言ってしまった。申し訳ない。 完成堤の整備を進めるにあたり、資料に示された黄色い区域については、上流側の既存堤防から続く形で暫定堤を構築し、樋管の工事を実施する。その後、区域全体に完成堤を整備する予定である。 最終的には、黄色い区域において、現在豊川で算定されている堤防の高さおよび規模に基づいた堤防を築造する方針である。今年度は工事用道路を整備しつつ、南側へ工事車両の進入が可能となるよう道路の整備を進め、事業を推進する計画である。	国	
13	完成堤ができるということは、今の牛川の霞堤はなくなると理解していいか。	その通りである。	国	

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（4/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
14	沖野水利組合として何度もお伝えしているが、沖野川の水源はない。沖野水利組合は、朝倉川から取水し、5月から9月末までの期間に灌漑用水として利用している水路であり、沖野川は常時水位を有する河川ではないということが説明の中では理解されていなかったようなので、もう一度伝える。 畑地において大雨による浸水被害が発生した際には、沖野川が排水接続水路となるが、畑の排水に関する排管を適切に整備しなければ、排水効果は十分に発揮されない。ただし、排水路の管轄は行政機関によって異なり、豊橋市内でも所管が分かれているため、畑の排水能力を向上させるためには、地域全体の排水状況を把握し、必要な対策を整理することが求められる。これは豊橋市および県の双方に対しての要望であり、個別対応では不十分である。水田に関しては水利組合が対応するが、畑地には組合が存在しないため、個人による申し出に頼らざるを得ない状況である。 この問題の解決には、農業支援課等の関係部署が現状を把握し、適切な排水路整備を行うことで、沖野地区がより安全かつ利用しやすい土地となることが期待される。	霞堤内の畑を含めた全体の排水については、豊橋市とも調整しながら進めていきたい。	国	
15	国交省が提案しているグリーンインフラに関する取組みについて、お話しいただきたい。自然環境、景観、親水等に配慮したものがあるかどうか。	豊橋市景観条例が地区にかかっているので、堤防整備の際に景観に配慮した形で整備をしていく予定である。	国	
16	グリーンインフラという言葉聞いたことがないという感じか。	聞いたことはあります。	国	〔補足〕 社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるものです。
17	毎朝、堤防を歩いている住民が複数おり、同様の生活習慣を持つ住民も少なくない。堤防を歩いていると、キジが飛び立つ様子や、特に図中の青色で示された区域にはキツネが生息しており、動物の姿を楽しみながら散策する者が多く存在する。当該地域において、こうした自然環境は豊橋公園の西半分を除けば他に類を見ないものであり、自然がどの程度保全されるかについて、非常に心配している。 堤防整備が進められることにより、朝の散策コースに影響が生じる可能性があるかと懸念している。浸水対策を進める一方で、地域の自然環境や緑地の保全についても十分に配慮し、事業を進めていただきたい	本日は治水工事の計画として説明させていただいた。河川利用や景観も考慮しているが、工事を進める上で避けられない点についてはご協力いただきたい。	国	

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（5/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
内外水浸水シミュレーション結果について				
18	堤防によって水を食い止め、樋管によって水の流入を遮断することで被害が軽減されるという説明がなされているが、霞堤においては城下橋を中心に水位が下がることで自然排水が行われてきた経緯がある。堤防が整備され、排水経路が樋管 1 箇所限定されることにより、降雨時の水の逃げ道が失われるのではないか。完成図を見る限り、樋管には強制排水機能が備わっておらず、城下橋からの自然排水の方が、はるかに排水量が多いと感じられる。 樋管の排水能力については数値的な説明がなかったため、住民が安心できるよう、樋門の機能や排水能力について明確に説明していただきたい。そうすることで、「樋管で大丈夫である」という理解が地域に浸透し、安心感につながる。		国	
19	沖野川沿いの水位が大きく低下しているように見受けられる。昭和 44 年および 55 年の水位データがシミュレーションに組み込まれているのか。資料には「22 時間で収まる」と記載されているが、実際には 2 日、長い場合には 3 日を要することがある。令和 5 年度の実績として、沖野川沿いの人家、工場、建具店等に水位を確認した結果、ほぼすべての地点で 1 メートルを超える浸水が発生していたが、本当に水位が下がるのか。樋管の排水能力を明確に説明いただかないと、不安が残る。 樋門単体の問題ではなく、排水システム全体の視点から取り組むべき課題であり、霞堤が廃止されたとしても、排水が不十分であれば浸水状態が継続する可能性がある。手始めに、市に排水路の整備状況を調査し、実際に水路が潰れていないかを確認してもらい、その結果を国土交通省に提供することで、排水処理の数式やシミュレーションに活用できる可能性があるのではないか。 また、田んぼの面積が減少したことで保水能力が約半分に低下しているにもかかわらず、沖野川の幅は変わっておらず、宅地化等による土地利用の変化がある中で、排水路の構造が変わっていない点が問題視された。水路が潰れている箇所も複数存在するため、市と国が共同で総合的に取り組まなければ、堤防や樋門の整備だけでは住民の不安を払拭することはできない。	市と連携しながら進めていく。	国	〔補足〕 市から排水路の整備状況に関する資料をいただき、モデルを構築し、シミュレーションを実施した結果をお示しさせていただいた。その結果を踏まえ、排水処理、樋管整備について市と連携して今後の対策を検討していく予定です。

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（6/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
20	令和 5 年 6 月のデータで、内水氾濫の発生後、22 時間で解消すると記載がある。当該地域で最も浸水被害が大きかったケースであり、シミュレーション上では 9 時間で解消するとされている。 令和 5 年の降雨量は昭和 44 年のそれを大きく上回っているにもかかわらず、シミュレーション結果では黄色の浸水域が広く示されており、説明内容と整合していないのではないか。	令和 5 年の降雨においては、下流域に線状降水帯が発生し、下流で大量の雨が降った。一方、昭和 44 年の降雨では、主に上流域に多くの雨が降り、それが下流に流れ込むことで霞堤から越水し、被害が拡大した経緯がある。 令和 5 年の事例では、霞堤からの越水も一部発生したが、それ以上に下流域で降った雨がそのまま堤内に滞留し、浸水被害を引き起こした箇所が多く見られた。 今回の完成堤を前提としたシミュレーションでは、上流域で降った雨は豊川から溢れない結果となっている。昭和 44 年の降雨でも下流域に一定の雨が降っていたが、比較すると令和 5 年の方が下流域の降雨量が多く、結果として内水被害は令和 5 年の方が大きくなっている。	国	
21	説明はよく理解できたが、資料にその趣旨が書いていないと大きな誤解を受けるのではないかと。少し資料を見直して、上部の 2 行コメントに追加してはいかがか。	ご意見に感謝する。	国	[補足] R5.6 月洪水と S44.8 月洪水の降雨量を比較すると R5.6 月洪水の方が多いため、浸水域が大きく浸水継続時間が長いことを追加で記載致します。
22	完成堤が整備されるまでの間は、自主的な防災対策を講じるしかないと考えているが、完成堤の整備完了時期は、令和 16 年頃になるか。	その想定である。	国	

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（7/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
23	「農機具の待避場や住民の一時避難場所の候補地及び避難ルートを検討」とあるが、場所を知らないので教えていただきたい。 また、橋を渡って水道局を左折する箇所はガードレールもあって道が広いが、右折する箇所は半分ぐらいの道路幅でガードレールもないので、可能であれば道路整備もしていただきたい。	農機具の待避場については、後ほどお話しさせていただきます。	国 市	牛川地区の農機具の待避場等については地元から特に要望がないため現時点では整備の予定はありません。
24	小堤の完成予定は令和 16 年度と書いてある。16 年には、上流部から整備が進み、朝倉川のところで曲がって終わっているところには小堤が完成するという理解で合っているか。終わりのところは上下水道局があるが、南側には朝倉川の堤防があり、その堤防の高さよりも小堤は当然低いと理解していいか。それであれば、上下水道局の南側の道路が下流に来ると坂になって現状の堤防のところに行く。その坂の途中ぐらいの高さが、小堤の終わりの部分、というイメージで堤防が完成ということでもいいか。	令和 16 年度には「完成」なので、朝倉川の既存堤防に向かって同じ断面で行くことになる。朝倉川の既存堤防より低いということはない。	国	
25	小堤ではないということか。	その通りである。あくまで朝倉川の堤防の高さという言い方になる。	国	
26	現状の朝倉川の堤防が、城下橋のほうまで延伸するのか。	黄色い部分が豊川本川の堤防であり、現在完成している堤防と同様の構造が令和 16 年度にかけて延伸される計画である。	国	
27	それでは、小堤というのはどういうものか。	牛川の事業における『小堤』は、工事用道路や一部堤防の整備を進めながら樋管を構築していく過程を指すものであり、令和 16 年度には完成堤として全体が整備される計画である。	国	

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（8/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
その他				
28	今回のシミュレーションは、霞堤の越水に対する対策を講じたとしても、内水被害が依然として残ることを示すものであり、極めて貴重なデータである。この問題は、行政が当事者としてどのように対応すべきかという議論に直結するものである。 従来「水に浸かる地域」として認識されてきたが、多額の予算を投入して越水被害を防止したにもかかわらず、線状降水帯により内水被害が発生するのであれば、事業所によっては立ち退きの検討も必要となる可能性がある。この問題が明らかになったことは、今年度における非常に重要な転機であり、今後の対応方針を検討する上での大きな課題である。 行政に対して三位一体（国・県・市）での連携を図り、どのように意思決定を行うべきかを含めて検討していただきたい。地元側としては、声をまとめる役割を担う者は出てくると考えられるが、それだけでは具体的な対策案（腹案）にはならないため、行政側においても主体的に検討を進めていただきたい。	今回のシミュレーション結果を踏まえ、関係機関と今後調整・協議をしていきたい。	国	
29	地元説明会の在り方について。事業の概要を説明するのが本旨だが、参加者の中には希望を持つ者、不安を抱える者など様々な立場の住民が存在している。説明に対する住民の疑問に対しては、より丁寧な準備をしていただきたい。 過去 4～5 年にわたり、住民から同様の意見や質問が繰り返し寄せられており、一部には回答が翌年以降に持ち越されるなど、対応の遅れが積み重なっている。自分としては不信や不満のほうが強い。 説明会は、事業の説明とそれに対する質疑応答の場であることから、過去に出された質問や意見、今年度の住民の関心事項などについて簡易な予備調査を行い、説明会に備える必要がある。住民の関心が離れていくことで、最終的に合意形成が必要となる段階で破綻を招く恐れがあるため、毎年の積み重ねが重要である。説明会で不安等に答えるために何ができるかということを、もう少し真剣に考えてほしい。	意見はお伺いした。	国	[補足] 住民の方々からいただいた意見、質問に対しては作業部会、地元説明会議事録の中で整理し、豊橋河川事務所 HP の浸水被害軽減対策協議会のサイトで公表してまいります。 また、疑問点等に対して必要に応じ検討をおない、作業部会等の場で説明させていただきます。

豊川霞（牛川地区） 地元説明会議事録（9/9）

会議開催日 令和 7 年 8 月 6 日

国：豊橋河川事務所、県：愛知県東三河建設事務所、市：豊橋市

	意見・要望・質問	回答	回答者	備考
30	今日も説明会の時間が約 30 分超過している。資料 1 から 6 まで多くの資料が配布された中で、すべてを網羅的に説明し質疑を行う形式では、参加者が発言の機会を得られずに帰る事態が生じる。出席者の中には、「本日こういう発言をしたい」との思いを持って参加している者もあり、その声が拾われないことは避けるべきである。配布された資料は貴重であるため、持ち帰って家庭で確認してもらうこととし、説明会では作業部会で問題となった事項を重点的に説明する形式に改めることで、参加者の声をよりの確に吸い上げることが可能になるのではないか。	説明内容については、その年の作業部会で委員の方としっかり議論した上で説明会に臨んでいきたい。	国	
31	令和 16 年度までの計画が示されているが、その工事費について国の了承は得られており、令和 16 年度までは財源があると理解してよいか。それとも、年度ごとに国に要求して予算を取っていくのか。	毎年の予算要求があるので、その中で必要な予算を確保していく予定である。	国	
32	それでは、令和 16 年度までの予算は確保できていないという認識でよいか。	ご認識のとおりである。	国	
33	予算をしっかりと取っていただきたい。	承知した	国	[補足] 計画的に工事が進められるように予算確保に努めていきます。